

7月15日（火）

◆成田空港到着

到着時間	到着場所	県人会	便名
15:20	T1 北	ホノルル、ハワイ島	KE002

※T1 は第1ターミナル、北は北ウィング

※1名は7月13日（日）到着済み

7月16日

◆皇居視察

東京駅に荷物を預け、皇居・二重橋付近を見学。朝から天候に恵まれ観光客も多かったが、二重橋を背景に写真を撮ることができた。



東京駅



皇居二重橋

◆移住資料館（JICA 横浜）

皇居から移住資料館まで JR 等を利用し移動。

移住資料館では、移住の歴史について事前予約により英語にて説明を受けた。研修生は、祖父母から聞いていた移住について理解を深めることができた。



移住資料館

◆浅草

移住資料館視察の後、横浜中華街でランチ。JR 及び地下鉄等を利用し浅草へ移動。乗車のたびに切符購入が必要となるため、乗り換え時間に余裕が必要。

浅草は自由行動とした。観光客でごった返していたが、時間まで仲見世をゆっくり見ながら食べ歩きしたり、お土産を買ったりしていた。

◆福島へ

浅草から東京駅へ移動。東京駅にて預けていた荷物を受け取る。その後、東京駅内にて夕食となるお弁当を購入。移動が日暮れ後となってしまったため、新幹線の車窓を楽しむことはできなかったが、スピードや静粛性、乗り心地に感銘を受けていた。

7月17日（木）

◆オリエンテーション

県内研修が始まるにあたり、オリエンテーションを実施。冒頭、長谷川部長より、研修生の来県を歓迎するとともに、研修の参加にあたり、①ルーツとなる本県をよりよく知ること、②復興の歩みを強めている本県の現状を帰国後広く伝えていただくこと、③研修における経験を生かし母国県人会発展のために大いに力を奮っていただきたい旨の挨拶があった。

その後、研修生より研修に対する意気込みなどが語られた。



長谷川部長挨拶



研修生発表

◆福島県の復興の歩み

県復興総合計画課の阿部主幹より説明を受け、本県の復興への取り組みについて理解を深めた。



復興の歩みについて

◆福島大学

福島大学では ESS サークルに所属する学生の歓迎を受けた。同世代の学生と一緒にランチを食べ、研修生たちは緊張がほぐれた様子だった。その後、場所を移して交流会を行い、お互いの国の紹介を通して交流を深めた。



一緒にランチ



交流会の様子



◆まるせい果樹園

まるせい果樹園では、震災以降の放射能や風評払拭に向けた農家の取り組みについてお話を伺った。その後、「くだもの王国」福島県を代表する果物の桃を実際に収穫した。研修生達は甘い桃の味に感動した様子だった。



農家の取り組みについて



桃狩り体験



◆福島県農業総合センター

本県食品の安心・安全を守るため、放射性物質モニタリング検査を実施している県農業センターを訪問。担当者よりその取り組み状況について説明を受けた。



センターの取り組みについての説明

7月18日（金）～7月21日（月）

◆ホームステイ

ホームステイ及び親戚宅にて過ごす。バーベキューや茶道体験、ショッピング、墓参りなどそれぞれホストファミリーと共に過ごした。